TOOLS for MGX / URX for Windows 主なアップデート内容

V1.2.1

V1.2.0 → V1.2.1

Device Center

V2.2.0 → V2.2.1

- MGX/URX シリーズのファームウェアを V1.3.1 にアップデートできるようになりました。

Steinberg Integration

V1.1.0 → V1.1.1

- Device Center が起動していない状態で Control Center を起動していると、PC 上のアプリケーションがネットワーク通信できなくなってしまう不具合を修正しました。
- MixKey との Software Integration 機能で、本体の入力設定画面が、本来それが表示されるはずのないチャンネル設定でも表示されていた不具合を修正しました。

MGX/URX Firmware

V1.3.0 → V1.3.1

- （MGX シリーズ）PAD チャンネルの音声が MIX1 に出力されない不具合を修正しました。
- 動作の安定性に関する軽微な不具合を修正しました。

V1.2.0

Device Center

V2.1.0 → V2.2.0

- MGX/URX シリーズのファームウェアを V1.3.0 にアップデートできるようになりました。
- 最新の Steinberg Integration に対応しました。

- 最新の Stream Deck 用 MGX/URX プラグインに対応しました。
- （MGX シリーズ）サウンドパッド用オーディオデータの長さの調節が可能になりました。
- 軽微な不具合を修正しました。

Steinberg Integration

V1.0.0 → V1.1.0

- Steinberg ソフトウェアから MGX/URX の内蔵エフェクトの設定ができるようになりました。
- 軽微な不具合を修正しました。

MGX/URX Firmware

V1.2.0 → V1.3.0

- microSD 画面に SAVE/LOAD メニューを追加し、本体の設定ファイルの保存、読み出し、編集ができるようになりました。
- 各インプットチャンネルからステレオバスへの音声出力のオン/オフを設定できるようになりました。
- Simple モードのセットアップアシスタントで選択できる楽器の種類を追加しました。
- （MGX シリーズ）Pad Setting メニューで、[FX1 Send]および[FX2 Send]の初期値を-∞から 0.0dB に変更しました。（Firmware のアップデートでは設定値は変更されません。初期化を行った場合のみ、初期値が設定値に反映されます。）
- （URX シリーズ）HOME 画面表示中は、[TOUCH AND TURN]ノブで STEREO チャンネルのレベルを調節できるようになりました。
- （URX シリーズ）Sampling Frequency メニューで[Follow USB]の初期値をオフからオンに変更しました。（Firmware のアップデートでは設定値は変更されません。初期化を行った場合のみ、初期値が設定値に反映されます。）
- その他、軽微な不具合を修正しました。

Basic FX Suite

V3.0.0 → V4.0.0

- 以下のプラグインが追加されました。

  GATE, COMP, PEQ, COMPANDER-H, COMPANDER-S, DUCKER, MULTI-BAND COMPRESSOR, PITCH FIX, MONO DELAY, PING PONG DELAY, REV R3 (Hall, Room, Plate)

V1.1.0

Device Center

V2.0.0 → V2.1.0

- （MGX シリーズ）Sound Pad に、コンピューターに保存されているオーディオファイルを割り当てられるようになりました。
- MGX/URX シリーズのファームウェアを V1.2.0 にアップデートできるようになりました。
- 軽微な不具合を修正しました。

Steinberg Integration

V1.0.0

- MGX/URX と Cubase/Nuendo の連携ができるようになりました。
- MGX/URX と MixKey の連携ができるようになりました。

MGX/URX Firmware

V1.1.0 → V1.2.0

- DAW Integration 機能を追加しました。
- USB Storage Mode 機能を追加しました。
- （MGX シリーズ）Sound Pad に、コンピューターに保存されているオーディオファイルを割り当てられるようになりました。
- （MGX シリーズ）本体の初期化メニューで、[Initialize All Memories]を選択した場合に、Sound Pad の再生データは初期化しないようにしました。

- （MGX シリーズ）本体の初期化メニューに、[Initialize Sound Pad Data]を追加しました。
- MONO IN チャンネル、MIX チャンネル（MGX シリーズの場合）の Signal Type で STEREO を選択した場合、該当する奇数/偶数チャンネルの PAN スライダーの間にハートマーク（♡）が表示されるようになりました。
- MONO IN チャンネルの Signal Type で STEREO を選択した場合、チャンネル定位の設定を PAN か BAL（BALANCE）か選択できるようになりました。
- （MGX シリーズ）STEREO OUT 端子に出力する信号の選択ができるようになりました。
- ST IN チャンネルで、Pan Link が機能していなかった問題を修正しました。
- （MGX12, 12V）HOME キーを押した状態で電源を入れても、初期化画面が表示されなかった問題を修正しました。
- MONITOR1 のソースが正しく保存できていなかった問題を修正しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

V1.0.0

- ファーストリリースバージョン

Yamaha Steinberg USB Driver

V2.1.9 → V2.1.10

- 対応機種を追加しました。

Device Center

V1.0.0 → V2.0.0

- MGX/URX のファームウェアアップデートができるようになりました。
- dspMixFx UR-C および dspMixFx AXR が起動できるようになりました。（インストールされている場合）

MGX/URX Firmware

V1.00 → V1.10

- Simple モード時のアナログゲインの初期設定値を修正しました。
- インサートエフェクトの PITCH FIX の音質に影響する不具合を修正しました。
- 電源ボタンを押してから起動完了するまでの時間を短縮しました。
- （MGX シリーズ）モーターフェーダーを搭載していないため、トップパネルのフェーダーの位置はシーンに保存されないように仕様変更しました。
- その他、製品本来の機能を提供するために必要な修正や機能改善を行いました。